※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和６年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」（数研出版）						
副教材等	現代の国語の基礎学習(尚文出版)、未来をひらく常用漢字(桐原書店)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会に出るうえで必要となる基礎的な国語力を身に付けていきましょう。
・ICT 機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。
・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	「読む」と「書く」 ［教材］ 若松英輔「書けない日々」 評論の読み方	a:　言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	社会と文化 ［教材］ 山崎正和「水の東西」	a:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 b[書]:二項対立を意識し、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c:筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	社会と文化 ［教材］ ズームアップ　文化	a:実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話/聞]:目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、伝え合う内容を検討している。 c:テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	言語技術の実践1 文章トレーニング1(文章構造を理解する) 文章トレーニング4(論証する) 文章トレーニング5(意見文を書く) レポート	a:情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[書]:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にまとめている。 b[書]:読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c:調査内容の整理とともに課題を粘り強く検討し、レポートの形式に沿って自分の意見を明確に示そうとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート 振り返りシート 授業態度
	問題を提起する ［教材］ 山極寿一「感情暴走社会の由来」	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[書]:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、筆者の文章を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度

※令和４年度以降入学生用

2学期	新しい視点 ［教材］ 梶井厚志「『わらしべ長者』の経済学」	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	言語技術の実践2 ［教材］ 聞くトレーニング（情報の聞き取り方） 話すトレーニング（説得力のある話し方） プレゼンテーション	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話/聞]：話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：相手にわかるような発表のしかたについて粘り強く検討し、今までの学習を活かして、多様な観点で表現を工夫しようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	ワークシート 振り返りシート 授業態度
	賛否を述べる ［教材］ 柳澤桂子「命は誰のものなのか」	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]：意図に応じて書かれているかを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 b[話/聞]：自分の考えが的確に伝わるよう、自分の考えを明確にするとともに、話の構成を工夫している。 c：筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	ことばの働き 【教材】 今井むつみ「知識のシステムをつくる」	a：推論の仕方を理解し使っている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者が述べる事例と、それとは対照的な事例の理由をそれぞれ粘り強く考察し、学習課題に沿って発表しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	ことばの働き 【教材】 ズームアップ　どこにも蝶などいない―言語論入門	a：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話/聞]：自分の考えが的確に伝わるよう、自分の考えを明確にするとともに、話の構成を工夫している。 c：テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度

※令和４年度以降入学生用

2学期	環境と科学 ［教材］ 岸田一隆「科学コミュニケーション」	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の表現を積極的に読み解いて、その主張を理解したうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
3学期	ことばの働き ［教材］ 内山節「時間と自由の関係について」	a：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	認識の枠組み ［教材］ 他者を理解するということ	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	認識の枠組み ［教材］ ズームアップ　自己と他者の理解とは	a：実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b[話/聞]：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c：論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	意見を述べる ［教材］ 無痛化する社会のゆくえ	a：引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：関連する二つの論理的文章を積極的に読み比べることで自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３５　）時間

・読むこと　…　（　２５　）時間

※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和６年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「言語文化」（数研出版）						
副教材等	（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・上代から近代以降の文学的な文章を通して、古典と現代の「言葉」のつながりを理解し、知識や思考力、想像力と中心とした国語力を身に付けていきましょう。
・ICT 機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。
・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文入門 ［教材］ ・言語文化と古文 ・いろは歌 ・古文チェックポイント［1］古文の基礎（歴史的仮名遣い）	a：言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 c：いろは歌や歴史的仮名遣いに興味を持ち、積極的に身に付けようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト		ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	説話 ［教材］ ・「宇治拾遺物語」児のそら寝 ・古文チェックポイント［1］古文の基礎（品詞の種類・活用と活用形） ・ズームアップ　古語と現代語	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	随筆㈠ ［教材］ ・「徒然草」つれづれなるままに ・「徒然草」ある人、弓射ることを習ふに ・ズームアップ　世の中を見つめる目	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 積極的に漢文調の表現について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	歌物語 ［教材］ ・「伊勢物語」芥川 ・ズームアップ　古典の享受史―『伊勢物語』を例に―	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：粘り強く第一段落と第二段落の関係性を見極め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	漢文入門 ・言語文化と漢文 ・入門一、二 ・漢文チェックポイント［1］（訓読の基礎） ・漢文チェックポイント［2］（再読文字・助詞・置き字） ・ズームアップ　漢文由来の名付け	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	故事 ・漁夫之利（戦国策） ・矛盾（韓非子） ・ズームアップ　故事成語の用例を探そう	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度

※令和４年度以降入学生用

2学期	物語 ［教材］ ・「竹取物語」なよ竹のかぐや姫	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：平安時代の成人の儀式について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	随筆（二） ・「枕草子」ありがたきもの ・「枕草子」雪のいと高う降りたるを ・ズームアップ　女房と宮廷生活	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	漢詩 ・漢文チェックポイント[5]（漢詩の形式） ・白居易「香炉峰下、ト山居、草堂初成、偶題東壁」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：前単元で学んだ『枕草子』と『白氏文集』の主題の違いを考え、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
	近代小説（一） ［教材］ ・言語文化と近現代 ・芥川龍之介「羅生門」 ・「今昔物語集」羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の話 ・「今昔物語集」太刀帯の陣に魚を売る媼の話 ・ズームアップ　芥川龍之介と古典	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度
3学期	軍記物語 ［教材］ ・「平家物語」祇園精舎 ・「平家物語」木曽の最期 ・ズームアップ　和漢混交文	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く差異を抽出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 振り返りシート 授業態度

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　１０　）時間
・読むこと　…　（　６５　）時間

※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和６年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選　論理国語」（数研出版）						
副教材等	図でつかむリード現代文(啓隆社)、未来をひらく常用漢字(桐原書店)、高校生必修語彙ノート（桐原書店）、改訂版プレミアムカラー国語便覧（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会に出るうえで必要となる基礎的な国語力を身に付けていきましょう。
・ICT 機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。
・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。

２　学習の到達目標

・　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	学ぶということ ［教材］ 学問の発見 リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 提出課題
	普遍的な言葉 ［教材］ 国境を越える言葉 リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 提出課題
	探求の扉―比べ読み― ［教材］ ニュースとコミュニケーション	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート 提出課題
2学期	情報と社会 ［教材］ 消費されるスポーツ リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a：推論の仕方について理解を深め使っている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 提出課題
	考えの表出 ［教材］ 日本語は非論理的か リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[書]：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 提出課題

※令和４年度以降入学生用

		c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。			
	表現編Ⅰ ［教材］ 報告書を書く	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:調査内容の整理とともに課題を粘り強く検討し、報告書の形式に沿って調査結果を明確に示そうとしている。	ワークシート	レポート	ワークシート レポート
３学期	考えの表出 ［教材］ 胆力について リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[書]:立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。多面的･多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 提出課題

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　３０　)時間

・読むこと　…　(　４０　)時間

※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和６年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選　論理国語」（数研出版）						
副教材等	図でつかむリード現代文(啓隆社)、未来をひらく常用漢字(桐原書店)、高校生必修語彙ノート（桐原書店）、改訂版プレミアムカラー国語便覧（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会に出るうえで必要となる基礎的な国語力を身に付けていきましょう。
・ICT 機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。
・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。

２　学習の到達目標

・　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報と社会 ［教材］ 弱いつながり リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：文章の内容から読み取れる筆者の意図について粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 提出課題
	異文化と普遍 ［教材］ 超えて行く翻訳 リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 提出課題
	異文化と普遍 ［教材］ 解説　泉鏡花『眉かくしの霊』	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート 提出課題
2学期	思考の枠組み ［教材］ 野生の「クジラ」と人間の「鯨」 リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a：情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b[読]：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 提出課題
	考えの表出 ［教材］ 「安楽」への全体主義 リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 c：課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 提出課題

※令和４年度以降入学生用

	情報と知性 ［教材］ メディアのテロル リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え、学習課題に沿って話し合おうとしている。	ワークシート	ワークシート 提出課題	ワークシート 提出課題
	情報と知性 ［教材］ 【探究の扉】人と共にある図書館の未来は明るい・図書館と「ものがたり」	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って二つの文章の共通点や相違点を整理し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート 提出課題	ワークシート 提出課題
３ 学 期	環境と人間 ［教材］ 意志と選択 リード現代文、 未来をひらく常用漢字 高校生必修語彙ノート	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 提出課題

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３８　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間

※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和６年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「文学国語」（数研出版）						
副教材等	新明説総合古典文法（尚文出版）、新明説総合古典文法基本練習ノート（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会に出るうえで必要となる国語力を向上させましょう。
・ICT 機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。
・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	昭和後期の小説 ［教材］ナイン	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：登場人物の気持ちの移り変わりを読み取り、考察し、話し合おうとしている。	定期テスト	定期テスト	ワークシート 振り返りシート グループワーク
	昭和初期の小説 ［教材］山椒魚	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c：山椒魚の気持ちの移り変わりを読み取り、考察し、話し合おうとしている。	定期テスト	定期テスト	ワークシート 振り返りシート グループワーク
2	大正の小説 ［教材］こころ	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	定期テスト	定期テスト	ワークシート 振り返りシート グループワーク
	詩歌 ［教材］表札	a：心情の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：作者の心情を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	定期テスト	定期テスト	ワークシート 振り返りシート 提出課題
3	文学的文章の創作 ［教材］物語のおわり	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c：『物語のおわり』の中で『空の彼方』という小説がどのような機能を持っているかを踏まえ、学習課題に沿って『空の彼方』の結末を創作しようとしている。	定期テスト	定期テスト	ワークシート 振り返りシート 創作活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間

※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和６年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「文学国語」（数研出版）						
副教材等	新明説総合古典文法（尚文出版）、新明説総合古典文法基本練習ノート（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会に出るうえで必要となる国語力を向上させましょう。
・ICT 機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。
・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	大正の小説 ［教材］檸檬	a:　人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	定期テスト	定期テスト	ワークシート 振り返りシート
	昭和初期の小説 ［教材］ナイン	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:登場人物の心情と行動の関連性について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	定期テスト	定期テスト	ワークシート 振り返りシート
2	明治の小説 ［教材］舞姫	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:『舞姫』と『普請中』の登場人物の人物像を粘り強く考察し、これまでの学習を生かしてまとめようとしている。	定期テスト	定期テスト	ワークシート 振り返りシート
	詩歌 ［教材］短歌・俳句	a:文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[書]:文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c:学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成や作品の創作に取り組もうとしている。	定期テスト	定期テスト	ワークシート 振り返りシート 創作活動
3	昭和中期の小説 ［教材］赤い繭	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:作品に込められた寓意を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	定期テスト	定期テスト	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　１５　)時間

・読むこと　…　(　５０　)時間

※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和６年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　古典探究」（数研出版）						
副教材等	読み解く古文２（浜島書店） 大学受験超基礎シリーズ　マドンナ古文単語 230（学研プラス）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・2 年次に学んだ用言の活用や助動詞の種類、敬語表現など、古文読解のために必要となる基本的な古典文法の理解を深めるとともに、それらを用いて「自力で考え、問題を解く力」を養いましょう。
・小テストのための事前学習や授業内容の予習復習には、自ら進んで取り組んでください。受け身ではなく、意欲的・積極的に授業に取り組む姿勢が大切です。
・定期考査には、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	歌物語 古文読解演習 古文単語 ［教材］伊勢物語　初冠 「読み解く古文２」 「マドンナ古文単語 230」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：粘り強く「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	定期テスト	定期テスト	課題提出 ワーク提出 小テスト
	説話 古文読解演習 ［教材］沙石集　兼盛と忠見 「読み解く古文２」 「マドンナ古文単語 230」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：忠見の歌にかける情熱を自ら進んで評価しようとしている。	定期テスト	定期テスト	課題提出 ワーク提出 小テスト
2	随筆 古文読解演習 古文単語 ［教材］枕草子　すさまじきもの 「読み解く古文２」 「マドンナ古文単語 230」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：「すさまじ」の意味変遷の歴史について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	定期テスト	定期テスト	課題提出 ワーク提出 小テスト
	物語 古文読解演習 古文単語 ［教材］源氏物語　光源氏誕生 「読み解く古文２」 「マドンナ古文単語 230」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察しようとしている。	定期テスト	定期テスト	課題提出 ワーク提出 小テスト
3	随筆 古文読解演習 古文単語 ［教材］徒然草　花は盛りに 「読み解く古文２」 「マドンナ古文単語 230」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：粘り強く本文の内容を読み解き、学習の見通しをもって作者の考えを説明しようとしている。	定期テスト	定期テスト	課題提出 ワーク提出 小テスト

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　６５　）時間

※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和６年度　国語科

教科	国語	科目	(学)現代文演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「わかる、とける現代文　解法のテクニック　三訂版　２」(啓隆社) 「語彙力をつける　入試漢字 2600」(喜入冬子)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代文の問題演習を通して、文章読解に必要な国語力を身につけ、「自力で読み、問題を解く力」を養いましょう。
・小テストのための事前学習や授業内容の予習復習には、自ら進んで取り組んでください。受け身ではなく、意欲的・積極的に授業に取り組む姿勢が大切です。
・定期考査には、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。

２　学習の到達目標

・文章読解や記述に必要な語彙を身につける。
　言葉の特徴や使い方、文法、慣用句、漢字などについての知識および技能を身につける。
・文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられるようにする。
　問題の意図に応じた適切な表現で文章を書き、自分の考えをまとめ、深められるようにする。
・文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨く。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・文章読解や記述に必要な語彙を身につけている。 ・言葉の特徴や使い方、文法、慣用句、漢字などについての知識および技能を身につけている。	・文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられる。 ・問題の意図に応じた適切な表現で文章を書き、自分の考えをまとめ、深められる。	・文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	現代文読解演習 ［教材］ 「わかる、とける現代文　解法のテクニック　三訂版　２」 「語彙力をつける　入試漢字2600」	a：文章読解や記述に必要な語彙を身につけている。 b[読]：文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられる。 c：文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 小テスト
	大学入試過去問題演習 ［教材］ 大学入試過去問題	a：文章読解や記述に必要な語彙を身につけている。 b[読]：文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられる。 c：文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。	小テスト	課題提出	課題提出 小テスト
二学期	現代文読解演習 ［教材］ 「わかる、とける現代文　解法のテクニック　三訂版　２」 「語彙力をつける　入試漢字2600」	a：文章読解や記述に必要な語彙を身につけている。 b[読]：文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられる。 c：文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 小テスト
	大学入試過去問題演習 ［教材］ 大学入試過去問題	a：文章読解や記述に必要な語彙を身につけている。 b[読]：文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられる。 c：文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。	小テスト	課題提出	課題提出 小テスト
三学期	大学入試過去問題演習 ［教材］ 大学入試過去問題	a：文章読解や記述に必要な語彙を身につけている。 b[読]：文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられる。 c：文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。	定期考査	定期考査	課題提出 小テスト

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　　）時間

※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和６年度　国語科

教科	国語	科目	(学)古典演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	「新訂版正しく読み・解くための力をつける古典ステップ１」（数研出版） 「マドンナ古文単語２３０」（学研プラス）新明説総合古典文法（尚文出版） 新明説総合古典文法基本練習ノート（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・用言の活用や助動詞の種類、敬語表現など、古文読解のために必要となる基本的な古典文法について学び、それらを用いて「自力で考え、問題を解く力」を養いましょう。
・小テストのための事前学習や授業内容の予習復習には、自ら進んで取り組んでください。受け身ではなく、意欲的・積極的に授業に取り組む姿勢が大切です。
・定期考査には、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。

２　学習の到達目標

・古文を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深める。
・習得した文法事項や文語のきまりを用いて応用的な問題を解き、論理的に考える力を伸ばす。
・古文を読む力を進んで高めるとともに，我が国の伝統と文化についての理解や関心を深めようとする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古文を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。	・習得した文法事項や文語のきまりを用いて応用的な問題を解き、論理的に考える力を伸ばしている。	・古文を読む力を進んで高めるとともに，我が国の伝統と文化についての理解や関心を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	歴史的仮名使い 品詞　動詞①動詞② 古典単語30語 ［教材］ 「力をつける古典 ステップ１」 「マドンナ古文単語２３０」 「新明説総合古典文法」 「新明説総合古典文法 基本練習ノート」	a：古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
	動詞③動詞④ 古典単語32語 ［［教材］ 「力をつける古典 ステップ１」 「マドンナ古文単語２３０」 「新明説総合古典文法」 「新明説総合古典文法 基本練習ノート」	a：古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
二学期	形容詞　形容動詞 古典単語30語 ［［教材］ 「力をつける古典 ステップ１」 「マドンナ古文単語２３０」 「新明説総合古典文法」 「新明説総合古典文法 基本練習ノート」	a：古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト
	助動詞 る・らる・す・さす・しむ・き・けり つ・ぬ・たり・り・む・むず・べし 古典単語50語 ［［教材］ 「力をつける古典 ステップ１」 「マドンナ古文単語２３０」 「新明説総合古典文法」 「新明説総合古典文法 基本練習ノート」	a：古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト

※令和４年度以降入学生用

三学期	助動詞 ず・じ・まじ・けむ・らむ・なり・たり・らし・めり・なり・まし・まほし・たし 漢文 古典単語50語 ［［教材］ 「力をつける古典 ステップ１」 「マドンナ古文単語２３０」 「新明説総合古典文法」 「新明説総合古典文法 基本練習ノート」	a：古典を読むために必要な文法事項、文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文語と口語の違いを意識し、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：粘り強く文法事項の理解に努め、本文の内容を読み解き、学習課題に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　３５　）時間

※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和６年度　国語科

教科	国語	科目	(学)国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「国語必携　パーフェクト演習」（水野　左千夫）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「話す・聞く」「書く」ことに慣れ、実用的な国語に関わる課題に取り組む中で実践的な力を身につけていきましょう。
・小テストのための事前学習や授業内容の予習復習には、自ら進んで取り組んでください。受け身ではなく、意欲的・積極的に授業に取り組む姿勢が大切です。
・定期考査には、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。

２　学習の到達目標

・伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、慣用句・漢字などについての知識及び技能を身につける。
・目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりする力を身につける。
目的や場に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深められるようにする。
・文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨く。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、慣用句・漢字などについての知識及び技能を身につけている。	・目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりする力を身につける。 ・目的や場に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	・文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元の学習内容</th><th rowspan="2">単元の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="2">一学期</td><td>言語活動
（他己紹介、敬語、若者言葉、
暑中見舞い、志望動機など）</td><td rowspan="2">a：伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、慣用句・漢字などについての知識及び技能を身につけている。
b[読]：目的や場に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
c：文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。</td><td>定期考査</td><td>定期考査</td><td>ワーク提出
課題提出
小テスト</td></tr>
<tr><td>［教材］
「国語必携　パーフェクト演習」ほか</td><td>定期考査</td><td>定期考査</td><td>ワーク提出
課題提出
小テスト</td></tr>
<tr><td rowspan="2">二学期</td><td>言語活動
（税の作文、リレー小説、
封筒・便箋の使い方、
年賀状の書き方、自分史等）</td><td rowspan="2">a：伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、慣用句・漢字などについての知識及び技能を身につけている。
b[読]：目的や場に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
c：文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。</td><td>定期考査</td><td>定期考査</td><td>ワーク提出
課題提出
小テスト</td></tr>
<tr><td>［教材］
「国語必携　パーフェクト演習」ほか</td><td>定期考査</td><td>定期考査</td><td>ワーク提出
課題提出
小テスト</td></tr>
<tr><td rowspan="2">三学期</td><td>言語活動
（「未来すごろく」の作成等）</td><td rowspan="2">a：伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、慣用句・漢字などについての知識及び技能を身につけている。
b[読]：目的や場に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
c：文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。</td><td rowspan="2">小テスト</td><td rowspan="2">課題提出</td><td rowspan="2">ワーク提出
課題提出
小テスト</td></tr>
<tr><td>［教材］
「国語必携　パーフェクト演習」ほか</td></tr>
</table>

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　　）時間